

2019年度（第64期）事業報告

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

1. 会員の異動状況

会員の種類		本期末会員数	前期末会員数	差引増減
名誉会員		16	15	1
正会員		2419	2466	▲47
学生会員		117	158	▲41
維持会員	S 級	4	4	0
	A 級	9	9	0
	B 級	5	5	0
	C 級	13	13	0
	D 級	13	13	0
	E 級	125	123	2
	合計	169	167	2
公共会員		10	11	▲1

2. 事業の状況

(1) 行事

行事名	講演件数	参加者数	期 日	場 所
日中トライボロジー先端フォーラム	21	50	2019. 4. 12-14	中国・成都
トライボロジー会議 2019 春 東京	160	872	2019. 5. 20-22	東京
第63期定時社員総会・特別フォーラム	2	119	2019. 5. 20	東京
第63期2018年度評議委員会	0	45	2019. 5. 20	東京
トライボロジー入門講座	3	108	2019. 6. 20-21	東京
第64期第1回維持会員企業懇談会	0	22	2019. 8. 6	東京
日本-台湾トライボロジーシンポジウム	14	30	2019. 9. 14-16	岩手
International Tribology Conference Sendai 2019 (ITC Sendai 2019)	642	900	2019. 9. 17-21	宮城
トライボロジー入門西日本講座	3	48	2019. 9. 26-27	兵庫
トライボロジー秋の学校	2	104	2019. 10. 10-11	愛知
トライボロジー応用講座（設計編）	1	51	2019. 10. 25	東京
日本-チェコトライボロジーワークショップ	19	28	2019. 10. 27-30	チェコ フナニチェ
第64期第2回維持会員企業懇談会	0	24	2019. 11. 20	東京
トライボロジー応用講座（実験・計測編）	1	44	2019. 11. 25	東京
トライボロジー国際技術交流会	6	43	2019. 11. 28-29	タイ バンコク
トライボロジー先端講座	4	54	2019. 12. 11	東京
摩擦の科学×謎解き体験学習プログラム2019 プログラム(1)	1	26	2019. 12. 15	東京
摩擦の科学×謎解き体験学習プログラム2019 プログラム(2)	1	31	2020. 1. 5	東京
トライボロジー懇談会	1	27	2020. 1. 24	東京

- ・ 教育講習ではリニューアルした入門講座および入門西日本講座を着実に実施するとともに、新たに立ち上げた応用講座（設計編）、応用講座（実験・計測編）を計画通り実施した。また、秋の学校、先端講座、懇談会を例年通り開催した。応用講座では、流体潤滑に関する設計および実験・計測技術に関して、また、先端講座では自動車のトライボロジーに関する最新技術について取り上げた。
- ・ トライボロジー会議 2019 春東京では、実用化技術の研究発表をし易くするように改めた分類分けを継続するとともに学術分類をベースに聴講し易いプログラムを構成した。広い企業展示会場に変更することで、展示企業数を増やすとともに集客につながる各種企画を実施した。
- ・ 国際トライボロジー会議 International Tribology Conference (ITC Sendai 2019)を仙台で開催し、国際交流を通じて JAST のプレゼンスを向上した。
- ・ 海外向け活動にも積極的に取り組み、第 10 回日中トライボロジー先端フォーラム、第 3 回日本-台湾トライボロジーシンポジウム、第 3 回日本-チェコトライボロジーワークショップを開催した。
- ・ 日系海外現地法人で働くエンジニアの技術交流機会の提供を目的に、第 5 回トライボロジー国際技術交流会をタイのバンコクで開催した。
- ・ 企業の上層部にトライボロジーの重要性を認知いただき、企業社員の活発な学会活動参加に繋げることを目的として、維持会員企業懇談会を開催した。
- ・ 次世代を担う子どもたちにトライボロジーを知ってもらうため、エンターテインメント性かつ集客性のある謎解き要素を取り入れた教育イベント「摩擦の科学×謎解き体験学習プログラム 2019」を国立科学博物館において開催した。

(2) 会誌

- ・ 会誌「トライボロジスト」、電子版トライボロジスト誌 (J-STAGE に掲載)、英文電子ジャーナル「Tribology Online」を発行した。「トライボロジスト」は 12 回発行。ページ数は、本文 724 ページ (64 巻 4 号～65 巻 3 号)。特集として「トライボロジー Who's Who 2019 企業版」、「摩耗研究会 50 年の歩みと摩耗研究の変遷」、「鋼用表面処理の基礎知識と最新動向」、「身のまわりのトライボロジー(4)」、「潤滑しない潤滑油」、「ウェブハンドリングにおけるトライボロジー」、「濡れ・脱濡れのトライボロジー」、「トライボロジーを切り拓く新しい計測・分析技術」、「半導体製造に関わるトライボロジー」、「研究会がリードするトライボロジー分野の最新動向」、「環境に配慮した潤滑剤の動向」、「自動車の電動化に関わるトライボロジー」を刊行した。
- ・ また、「随筆 トライボ草子」、「トライボロジー・ナウ トライボロジー海外体験記 —ア라운드・ザ・ワールド—」、「入門講座 トライボロジー教室」、「技術資料 トライボツール開発記 —ブレイクスルーへの挑戦—」の連載を継続している。
- ・ Tribology Online は、Vol. 14 No.2～No.5 および Vol. 15 No.1 まで (472 ページ) を発行した。
- ・ Tribology Online, Vol.14, No.5 で、ITC Sendai 2019 の特集号「ITC Sendai 2019 Special Issue: Part 1 – Papers from ITC Sendai 2019 –」を発行した。

(3) 研究会

今期は学会指定研究会(1)、産学協同研究会(4)、会員提案研究会(22)、地区研究会(2)の計 29 の研究会が活動を行った。なお、学会指定研究会「新領域・新分野開拓研究会」と会員提案研究会「鉄道のトライボロジー研究会」は今期をもって終了する。

研究会名	種別*	回数	場所
新領域・新分野開拓研究会	学会指定	3	東京・岐阜
添加剤技術	産学協同	4	東京・宮城
固体潤滑	産学協同	4	東京・茨城
グリース	産学協同	5	東京・宮城・島根
転がり軸受寿命	産学協同	1	愛知
エンジン潤滑	会員提案	2	東京
転がり疲れ	会員提案	2	茨城・静岡
シール	会員提案	3	東京・福岡・神奈川
鉄道のトライボロジー	会員提案	1	東京
ファイル記憶のトライボロジー	会員提案	1	大阪
摩耗	会員提案	2	兵庫・仙台
メンテナンス・トライボロジー	会員提案	2	石川・大阪
塑性加工のトライボロジー	会員提案	2	埼玉・東京
トライボケミストリー	会員提案	2	北海道・京都
自動車のトライボロジー	会員提案	4	愛知・東京
アルミニウムのトライボロジー	会員提案	1	愛知
高分子材料のトライボロジー	会員提案	3	東京
“超”を目指す軸受技術	会員提案	4	京都・東京
スペーストライボロジー	会員提案	0	COVID-19感染拡大防止のため 3月予定の研究会を中止
分子シミュレーションのトライボロジーへの応用	会員提案	1	兵庫
変速機のトライボロジー	会員提案	3	東京・京都
機能性コーティングの最適設計技術	会員提案	3	岐阜・東京・宮城
テクスチャリング表面のトライボロジー	会員提案	1	兵庫
境界潤滑	会員提案	1	東京
工作機械のトライボロジー	会員提案	3	東京
トライボダイナミクス	会員提案	1	神奈川
表面力	会員提案	1	大阪
日本海トライボロジー	地区	1	石川
北海道トライボロジー	地区	1	北海道

*）研究会の旧種別との対比は次の通り。

学会指定・・・第1種，産学協同・・・第2種，会員提案・・・第3種

(4) 主な取り組み

学会員のメリット向上，学会のガバナンス・コンプライアンスの強化を目的として各委員会が目標を設定し，理事会でフォローアップしながら以下に取り組んだ。

- ・ 2020年4月から学生会員の入会金と年会費を無料化し，より多くの学生がトライボロジーに触れることができる機会を提供するために，規程類の見直しやシステム環境を整備した。
- ・ トライボロジー会議の講演発表資格を見直し，トライボロジー会議2020春東京から一般講演での発表を個人会員（正会員，学生会員，名誉会員）に限定，システム環境を整備した。
- ・ 次世代教育WGを新設し，次世代トライボロジストへのトライボロジー啓発教育，すなわち小中高生向けトライボロジー体験学習の企画，実施，支援に関する活動を開始した。

- ・ 本会ホームページ (HP) をより多くの会員や一般の人に見ていただけるように、HP のビジュアル化や機能の追加を行った。さらに、本会 HP を利用して個人のスマートフォンで会員資格を表示できるデジタル会員証を作成した。
- ・ 相互補完が可能な事務局体制を構築するため、事務局員の担当業務のローテーションを行った。
- ・ トライボロジー会議 2019 春東京で、コンプライアンス意識の強化を目的とした特別フォーラム「組織不祥事とコンプライアンスー不正のトライアングルからの検討ー (北大. 谷口教授)」を開催した。
- ・ 会誌「トライボロジスト」の紙印刷を活かした情報アクセスの向上のため、2次元コードを活用した誌面作りの規定を整備した。
- ・ Tribology Online の校閲業務について、ITC Sendai 2019 で外国人 Associate Editor 会議を開催し国際化をさらに推進した。
- ・ Tribology Online が Clarivate Analytics 社の ESCI (Emerging Sources Citation Index)掲載を維持した。
- ・ 米国 STLE と論文出版関係の情報交換を行った。
- ・ Tribology Online に付与している Creative Commons ライセンスについて、著作権の観点から再検討し著作権ガイドラインを含めた対応を進めた。
- ・ トライボロジーハンドブック、トライボロジー辞典の改定ならびに継続的な書籍出版体制を再構築するために、新たに出版委員会を立ち上げ、書籍出版計画の立案ならびにトライボロジーハンドブック編集委員会の創設に着手した。
- ・ 教育講習の各種講座を再編した。入門講座／入門西日本講座の講師と内容を見直すとともに、テーマ別基礎講座とスキルアップ講座をそれぞれ応用講座 (設計編)、応用講座 (実験・計測編) に改めて、トライボロジーの実務に対応する上でより効果的な教育プログラムを提供した。
- ・ HP サーバ・アップデート、イベントシステム機能改修、GDPR 法・ePrivacy 規制、学生会員無料化対応などの情報システム改善に集中的に取り組んだ。
- ・ トライボロジー会議および各種講習会の参加者の利便性向上のため、クレジットカード決済に対応できるシステム環境を整備した。
- ・ 会員メリットを広く周知するために、学会パンフレットを改定、発行した。
- ・ 会員メリットを明確にするため、移行期間を設けた上で第 65 期から会員提案研究会 (旧第 3 種研究会) の参加資格を個人会員に限定し、維持会員企業に所属する非会員の参加人数を制限した。
- ・ 会員メリットの明確化を目的とした研究会委員資格の厳密化のための移行期間として、学会指定を除く全研究会の委員資格調査を実施した。その結果を各研究会に展開し、主査・幹事に非資格者への入会の勧誘を依頼した。
- ・ 第 63 期で終了した学会指定研究会「オープンイノベーションを目指した技術動向調査研究会」成果報告書を会員限定にてホームページに公開した。
- ・ 研究委員会のホームページを新たに運用開始するとともに、研究会主査幹事専用ホームページを立ち上げ、ホームページ活用による運用の効率化と研究会の活性化を図った。
- ・ 功績賞の再定義 (位置づけ、対象、評価項目・評価基準、選考委員会の構成、選考プロセス等) を、表彰委員会とその諮問機関である功績賞再定義部会で連携して行った。
- ・ 論文賞およびオンライン論文賞の統合後、最初の選考を行った。
- ・ 学生会員が在学期間に受賞できるように学生奨励賞の制度の見直しを行った。
- ・ ITC Sendai 2019 において、7 つのトライボロジー国際誌の編集長を招待した基調パネル討論会を開催した。
- ・ 米国 STLE との連携の覚書に基づき、ITC Sendai 2019 において若手研究者を中心にした JAST & STLE young tribologist symposium を開催した。さらに第 2 回目の young tribologist symposium を 2021 年の STLE での会議にて開催することを決定した。